

## 日高教第121回定期大会挨拶

皆さま、本日は、日本高等学校教職員組合第121回の定期大会にご出席いただきありがとうございます。日高教で中央執行委員長を務めております、島根高教組出身の小野山享宏と申します。定期大会の開催にあたり、日高教を代表して挨拶を申し上げます。

私は組合に入った頃から「組合活動には夢がある。」と思っています。それは、教育の未来を少しでも明るくしようと現場の仲間が手を取り合って前に進もうとしているからです。そして、組合の執行委員として活動するようになって、現場の思いを届ける活動には、大きな意義があると感じています。思いには、物事を修正して動かす力があるからです。

教育現場では今、教員不足が問題になっています。年度当初から欠員が生じている学校があります。そして、年度途中で生じた休暇・休職者の交替を見つけることはほとんどできず、欠員の状態で学校を運営している現状があります。

今年2月、文科省に基本要求書を提出するため島根から乗った東京行きの飛行機の中で、「昨年度、精神疾患を理由に病気休職をした教員の数は過去最多の5,897人」というテロップが前方に流れました。そのあと、教員の不足数を調べたところ、全国の全校種を合わせて2021年5月時点で2,065人という数字が出ていました。

精神疾患を理由に病気休職に至った理由はそれぞれですが、「5,897人のうち何人が組合に入っていたらどうか?」「組合に入っていたら仲間に相談できたのではないだろうか?」「同じような思いで働いている人に出会えたのではないだろうか?」そして、「病気休職中の今、自分を責めずに、きちんと治療できているだろうか?」という思いにかられました。

文科省は「調査では、2年未満での休職が目立ち、若手ほど精神疾患による休職の割合が高い傾向が出ている。」「教員間でコミュニケーションを取る機会が減ったことが影響している。」という見解を出しています。

今、若手の組合離れが進んでいます。このことは、組合という無限の可能性を秘めるツールを通して、若手を支える機会が減っているということでもあります。

また、文科省は「若手が学校に慣れるまでに経験豊富な同僚が支える体制が必須となっている。」との見解も示しています。

組合が担ってきた、教員採用試験対策勉強会や新人研修会、分会や地区ブロックごとの交流会等を通して、活動の中で大切にしてきた「仲間との繋がり」を再認識し、しっかりと若手を支えていく体制を作っていく必要があるのではないかと考えています。

近年、教員を確保するため、採用試験のハードルが下がり、各県で現職教員の奪い合いが行われています。教員免許はなくても採用試験が受けられる自治体も出てきました。教育委員会は、新たな人材を掘り起こすことで教員を確保しようとしています。

しかし、私は、これ以上仲間を失いたくないです。もし、5,897人の仲間が元気に現場に復帰できたら、教員不足は一気に解消すると考えています。そのためにも、精神的に苦しくなるような労働環境の改善は急務であると考えています。そして、組合という組織活動を活かして人との繋がりを作ることで、一人で悩まなくていい環境を、一人にならなくていい環境づくりをすすめていかなければいけないと考えています。

そのためにも組織で個人を守るという視点を大切にして、一人ひとりの思いに寄り添った組合活動を展開しなければいけません。

「是々非々、不偏不党」を掲げる日高教の役割は、教育の未来のために文科省をはじめとする各省庁や各政党と意見交換を行い、しっかりと現場の思いを施策や政策に反映するよう要請すること、そして、少しでも働きやすくなるよう人事院との交渉を行い、給与および待遇改善につながる人事院勧告を引き出すことにあります。

今、日本の教育がクローズアップされ、時間外労働や給特法、部活動、教育のICT化、保護者対応、貧困対策、不登校対策等多くの課題が明確になってきました。働き方改革は進まず現場は混乱する一方です。

しかし、見方を変えると、課題が明確になり、これからの教育をどう変えていくのかを考える絶好の機会ではないでしょうか。教育の未来について考える輪の中に、これからの教育を担う若手の思いが多く取り入れられる事を願います

現場から教育を変えていくために、今こそ、各単組の思いを日高教に結集し、各県の代表者でしっかりと議論し、思いをしっかりと形にして、しかるべきところに届ける必要があります。そして、このことこそが日高教の使命です。

そのためにも一人ひとりが当事者として、教育の未来について考えてほしいと思います。

本日の定期大会は、今年度の日高教の運動方針を決定する最高の意志決定機関です。議員の皆様には建設的な議論とともに、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。われわれ執行部も、有意義な定期大会となるよう努めさせていただきます。本日はどうぞよろしくをお願いします。

日本高等学校教職員組合  
中央執行委員長 小野山享宏